

第 43 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

学園祭総括報告書

学園祭総括報告書

平成 29 年度筑波大学学園祭実行委員会決算報告書

目的の評価

目的の評価補足資料

第 43 回雙峰祭アンケート

平成 29 年度筑波大学学園祭実行委員会

第 43 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

学園祭総括報告書

I. 概要

II. 詳細

I. 概要	1
A. 名称.....	1
B. 目的.....	1
C. テーマ	1
D. 日程.....	1
E. 会場.....	2
F. 主催・後援.....	2
G. 運営組織	2
H. 企画.....	2
I. 予算の方針.....	2
II. 詳細	3
A. 委員長団	3
B. 財務局	5
C. 総務局	6
D. 広報宣伝局.....	7
E. 渉外局	9
F. 推進局	10
G. 総合計画局.....	12
H. 情報システム局	12
I. ステージ管理局	14
J. 本部企画局.....	17
K. 案内所運営部会	18
L. 調査専門部会	20

特に断りのない限り、本文書内の日付は平成 29 年のものである。また、平成 29 年度筑波大学学園祭実行委員会は以下「学実委」、学実委実行委員は以下「実行委員」、総括報告書は以下「総括」、実行計画書は以下「実計」、企画団体責任者連絡集会は以下「企団連」、ステージ組合は以下「ステ組」、全学学類・専門学群代表者会議は以下「全代会」、学内行事委員会は以下「内行」、企画を運営するサークルおよび一般学生団体および個人（教職員も含む）は以下「企画団体」、ゲストを含む企画団体の構成員は以下「企画団体構成員」、大学会館エリアは以下「会館エリア」、体育・芸術エリアは以下「体芸エリア」とする。学園祭実行計画書追加提出分にて記述した事項については、実計との相違点としては扱わない。

I. 概要

A. 名称

第 43 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

B. 目的

筑波大学は日本各地、ひいては全世界から人が集まる大学であるとともに、多様な学問分野を有する日本有数の国立総合大学である。筑波大学学園祭は、これらの特色を生かした筑波大学らしい多彩な企画や様々な分野の発表を通じ、つくば市を中心に本学の魅力を広く発信することを目的とする。

上記の目的がどの程度達成されたかの評価には、内行が作成した別途資料の「目的の評価補足資料」を使用する。

C. テーマ

「筑波日和」

D. 日程

準備日	: 11 月 3 日 (金)	～20:30
前夜祭	: 11 月 3 日 (金)	15:00～21:00
本祭 1 日目	: 11 月 4 日 (土)	10:00～21:00
本祭 2 日目	: 11 月 5 日 (日)	10:00～21:00
片付け日	: 11 月 6 日 (月)	9:00～

※ 本祭 2 日目の 18:00～20:30 までを後夜祭とした（詳細は「Ⅱ.詳細 H.情報システム局、I.ステージ管理局、J.本部企画局」）

※ 以下、前夜祭開始時から後夜祭終了時までを当日と表記する

※ 当日とは企画が行われている期間、本祭 2 日目とは企画開始から同日 21:00 までとし、それまでには撤収するよう企画に指示した

※ 片付け日はそれぞれの作業が終わり次第終了とした

E. 会場

- 前夜祭 : 第二・第三エリア屋外
本祭 : 第二・第三エリア、第一エリア、会館エリア、体芸エリアを中心とする
本学諸施設およびペDESTリアンデッキ

F. 主催・後援

- 主催 : 全学学類・専門学群代表者会議
後援 : 筑波大学紫峰会基金
一般社団法人茗溪会
つくば市

G. 運営組織

平成 29 年度筑波大学学園祭実行委員会

H. 企画

委員会開催企画を除くすべての企画募集および一般企画管理は総務局の管轄とし、ステージ企画管理はステージ管理局の管轄とした。企画登録および申請は雙峰祭オンラインシステム（詳細は「Ⅱ.詳細 H.情報システム局」を参照）にて受け付けた。

1. 委員会開催企画

詳細は「Ⅱ.詳細 H.情報システム局、J.本部企画局」を参照

2. ステージ企画

詳細は「Ⅱ.詳細 I.ステージ管理局」を参照

3. 一般企画

詳細は「Ⅱ.詳細 C.総務局」を参照

I. 予算の方針

財務局が中心となり、実計に記載した方針に沿って予算案を作成した。

II. 詳細

A. 委員長団

1. 渉外活動

学内外の各種団体との渉外活動を行なった。

(1) 学内

全代会および内行と、実計の審議・承認などで連携した。また、体芸エリアの芸術祭参加枠の企画をまとめる芸術祭実行委員会と、情報共有や企画団体の管理等を共同で行った。加えて、全代会の主催する学生組織連絡会や学長との茶話会、つくば市長との懇談会などにも参加し、スポーツ・デー学生委員会や宿舍祭実行委員会などとも交流した。

(2) 学外

関東学園祭交流会に出席し、他大学の学園祭運営組織との意見交換を行った。(株)ぐるなび主催の「Let's ENJOY TOKYO 学園祭グランプリ 2017」にエントリーし、首都圏への広報を強化するほか、他大学の学園祭と比較する機会を作った。

また、つくば市と連携し「つくば市×雙峰祭プロジェクト」を行った。このプロジェクトの詳細については別途資料の「平成 29 年度つくば市×雙峰祭プロジェクト報告書」参照。

2. 内部規則の制定

実計通りに行った。

3. 各種規則の制定

(1) 禁止事項

実計通りに行った。

(2) 協賛の規制

① 金銭協賛

実計通りに行った。

② 物品協賛

実計通りに行った。

(3) 酒類規制

① 学園祭における酒類の取り扱い

実計通りに行った。飲酒している者を発見した際は、学内での飲酒が禁止されていることを伝えて、飲酒をやめてもらった。

② 樽酒振る舞い

実計通りに行った。(詳細は「Ⅱ.詳細 J.本部企画局 3.来場者参加型部門」を参照)

③ 広報

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、企画団体に対する集中的な告知を重視し、D) Twitter、E) Facebook での広報は見送った。

4. 学実委内業務の監査および補佐

実計通りに行った。

5. 学園祭実行計画書および学園祭総括報告書の作成

実計通りに行った。

6. 「目的の評価」作成に向けた調査

実計通りに行った。

7. 当日運営の統括

(1) 喫煙所

実計通りに行った。

(2) 消火器

実計通りに行った。

(3) 車椅子

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、保管場所として予定していた 2B211 は施設管理側の都合により使用不可となったため、2A210 にて保管した。

8. 体育会公開練習の管理

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、以下の変更点が生じた。追加提出分にて提出したものに、以下の団体と場所を削除または追加した。

表 1 体育会使用希望施設一覧削除分

使用希望施設	団体名
春日グラウンド (B 面)	男子ラクロス部
中央体育館バスケットボール場	男子バスケットボール部
中央体育館バスケットボール場	女子バスケットボール部

表 2 体育会使用希望施設一覧追加分

使用希望施設	団体名
春日体育館	医学バレーボール部
第二体育館	医学バレーボール部
第二体育館	医学ハンドボール部

B. 財務局

1. 予算案作成

学実委の一次予算案は 5 月に学実委内で承認を受け、続けて 6 月に全代会から、7 月に学生財務会議から承認を受けた。また、二次予算案は 10 月に学実委内、全代会および学生財務会議で承認を受け、大学に提出した。予算項目は晴天時を想定して作成したものを中心に、悪天候時、中止時の変更点を記載したものを作成した。

2. 金銭管理

実計通りに行った。

3. 運営資金の調達

(1) 学園祭学生分担保負担金（以下、「学分金」とする）

学園祭運営資金として、学分金の集金を 4 月から 8 月まで行った。詳細は「別途資料「平成 29 年度筑波大学学園祭実行委員会決算報告書」を参照。

(2) 筑波大学紫峰会基金 課外教育行事援助金

筑波大学紫峰会基金に課外教育行事援助金を申請し、100 万円の援助を受けた。

(3) 一般社団法人茗溪会 学生活動支援援助金

茗溪会に平成 29 年度茗溪会学生活動支援援助金を申請し、50 万円の援助を受けた。

4. 企画団体物品支給制度の実施

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、10 月 29 日（日）も支給日とした。予定していた支給日である 10 月 21 日（土）と 10 月 28 日（土）がどちらも雨天となったことで、物品を受け取りに来る企画が少なかったためである。追加の支給日に来る企画が一定数あったので、実施の意義はあった。

5. 保険の管理

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、普通傷害保険について、学実委・当日スタッフとステージ出演者は、危険度に応じた保険に加入した。ステージ出演者はダンス参加者、バンド参加者、ダブルダッチ参加者の 3 つに分け、保険会社で設定されているそれぞれの危険度に応じた保険料率の保険に加入した。

施設所有者・管理賠償保険（横断幕）	：10 月 7 日（土）～11 月 10 日（金）
施設所有者・管理賠償保険	：11 月 3 日（金）～11 月 5 日（日）
生産物賠償責任保険	：11 月 3 日（金）～11 月 30 日（木）
動産総合保険	：11 月 3 日（金）～11 月 5 日（日）
普通傷害保険	：11 月 3 日（金）～11 月 5 日（日）

6. 決算報告書の作成

実計通りに行った。

C. 総務局

1. 一般企画団体（学術参加枠・芸術祭参加枠を含む）の募集および登録受付

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、雙峰祭オンラインシステムの調整のため、5 月 3 日（火）から企画募集を開始した。

2. 学術参加枠の注意事項および説明

実計通りに行った。

3. 芸術祭参加枠の注意事項および説明

実計通りに行った。

4. 企画団体の情報管理

実計通りに行った。

5. 企画団体への各種連絡・指示

(1) 企画募集説明会

実計通りに行った。ステージ企画と一般企画の参加区分の説明を行ったため、ステージ企画に参加する方も対象に含んだ。

(2) 企画団体責任者連絡集会

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、企団連配付資料の掲載は、企画団体への集中的な情報提供を目的として、雙峰祭公式 Web サイトではなく、雙峰祭オンラインシステム上にて行った。

(3) 一般企画用マニュアル

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、一般企画用マニュアルの掲載は、雙峰祭公式 Web サイトではなく、雙峰祭オンラインシステム上にて行った。

(4) 企画登録証

実計通りに行った。

(5) 会場清掃

実計通りに行った。

D. 広報宣伝局

1. 広報宣伝活動

学園祭に関する情報の周知と来場者数の増加のために、以下の方法で広報宣伝活動を行った。

(1) オフィシャルポスターの掲示

実計通りに行った。

(2) 情報誌への広告掲載

実計通りに行った。

(3) 横断幕の設置

実計通りに行った。

(4) 公共交通機関への広告掲載

実計通りに行った。

(5) 広報物の配布

① 大学説明会における配布活動

実計通りに行った。

② つくば駅周辺における配布活動

実計通りに行った。

(6) 学内での宣伝活動

① カード立て

実計通りに行った。

② 宣伝看板

実計通りに行った。

③ 雙峰祭通信

実計通りに行った。

④ 宣伝ポスター

実計通りに行った。

⑤ カウントダウン掲示板

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、設置を 11 月 1 日（水）から行った。

⑥ 雙峰祭旗設置

実計通りに行った。

(7) SNS を用いた宣伝活動

実計通りに行った。

(8) ラジオでの宣伝

実計通りに行った。

2. 学園祭公式テーマの募集・決定

実計通りに行った。

3. 学園祭公式マスコットキャラクターの募集・決定

実計通りに行った。

4. オフィシャルポスターの制作・管理

実計通りに行った。

5. オフィシャルパンフレットの制作・管理

実計通りに行った。

6. 当日放送機材の準備・管理

実計通りに行った。

7. 広報宣伝の管理

概ね実計通りに行った。

(1) 企画宣伝活動の期間

実計通りに行った。

(2) 使用できる宣伝媒体

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、実計にて使用できるとした宣伝媒体に加え、学実委へ個別に問い合わせられたものに関しては内容を吟味した上で一部許可した。

8. 企画宣伝支援

(1) 企画宣伝用橋看板

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、設置を11月2日（月）から行った。

(2) 学園祭特設掲示板

実計通りに行った。

E. 渉外局

1. 運営資金の調達

(1) 構成員援助金

実計通りに行った。

(2) 協賛金

実計通りに行った。

2. 物品の調達

実計通りに行った。

F. 推進局

1. 保健衛生の管理

(1) 保菌検査

実計通りに行った。

(2) 検食

実計通りに行った。当日は巡回して検食するよう促す呼びかけを行った。

(3) 消毒液の配付

実計通りに行った。

(4) 水道の管理

① 水道ネット

実計通り行った。汚れのひどい水道に関しては随時ネットの交換を行い、水道が詰まらないように対処した。また、使用頻度の高い水道には、生ごみ用のバケツとザルおよびごみ箱を設置して対処した。

② 水道の制限

実計通り行った。

③ 仮設水道の設置

実計通りに行った。

(5) 食品の回収

実計通りに行った。

(6) 調理場

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、5C121の「調理実習室」は学実委が指定する他の調理場と同程度の機能を果たせると判断し、新たに調理場として指定した。

(7) 禁止事項

実計通りに行った。

2. 各種貸出申請

(1) 借用物品の貸出

① 機材

実計通りに行った。学生生活課から借用した機材に不具合があったため、代用品を株式会社 MUSIC PLANT からレンタルした。費用は学生生活課が負担した。

② テント

実計通りに行った。

③ 調理器具

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、食堂側の要望により、一部の調理器具は 11 月 1 日（水）から借用した。

(2) 宣伝用看板の貸出

実計通りに行った。

3. 各種物品購入

(1) エコ食器

実計通り行った。今年度におけるエコ食器の申請企画数は、41 企画であった。エコ食器の回収率を上げるために、エコ食器使用企画に配付した掲示物、オフィシャルパンフレット等によって、来場者に対しエコ食器の存在の周知を図った。回収率は 72.8% ほどであった。

(2) ガスボンベ

概ね実計通り行った。ただし、実計との相違点として、学実委所有数では不足したため、新たに十一屋燃料株式会社にも発注した。

4. 各種物品調達

(1) レンタル会社を通じての物品調達

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、企画団体の希望により、一部の物品の貸出を 11 月 2 日（木）に行った。

(2) リヤカー

実計通りに行った。

G. 総合計画局

1. 会場配置計画

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、第7回企団連にて、「企画実施場所確認のお願い」を一般企画に配付した。

2. 電気計画

実計通りに行った。

3. 机・椅子移動計画

実計通りに行った。

4. 美化計画

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、人文社会学系棟屋内における2階から4階のエレベーターホールに共用ごみ箱を設置した。設置品目は「燃やせるごみ」「ペットボトル」「ペットボトルキャップ」の3種類であった。人文社会学系棟は研究室が多く、屋内通常ごみ箱の封鎖を行うことは不適切であると判断し、これらのごみ箱に学園祭のごみが捨てられる可能性を減らすための処置として行った。

5. 総合交通計画

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、来場者が誤って侵入する可能性が低いと考えられる進入禁止通路の入り口には看板を設置しなかった。また、車両が誤った場所で停車しないよう、中央図書館・第一エリア間道路の交通規制区間の1D棟付近に常時、実行委員を配置し、車両誘導を行った。

H. 情報システム局

1. システムの開発および情報基盤の維持・管理

(1) 雙峰祭オンラインシステム

実計通りに行った。

(2) 学実委内情報環境の維持・管理

実計通りに行った。

(3) ソフトウェアライセンス・独自ドメイン等の情報系契約の維持・管理

実計通りに行った。Adobe Creative Cloud のライセンスについては、大学が包括契約で取得しているライセンスを使用する方針を固め、学生生活課立会いのもと、学実委所有の PC へのインストールを行った。

(4) 当日の通信インフラの構築・管理

実計通りに行った。

(5) 委員会開催企画で使用するシステム等の開発・運用

委員会開催企画「雙峰祭グランプリ 2017（詳細は「Ⅱ.詳細 J.本部企画局」）」で用いる投票システムの開発を行った。

2. 各種 Web サイトの制作・管理

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、雙峰祭公式 web サイトの制作を優先させたため、学園祭実行委員会公式 Web サイトでの情報発信は行えなかった。また、雙峰祭公式 Web サイトのコンテンツの一部として、企画検索システムを開発し、公開した。

3. 各種映像の制作

(1) 各種映像の制作

実計通りに行った。加えて、駐車場案内 CM、バリアフリー情報案内 CM、委員会開催企画「TSUKUBA COLLECTION 2017」「前夜祭セレモニー」（詳細は「Ⅱ.詳細 J.本部企画局」）において使用する映像の制作も行った。

(2) 雙峰祭ダイジェスト 2017

上映は実計通りに行った。アップロードは実計通り行う。

4. 委員会開催企画

(1) 学園祭生中継プロジェクト

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、中央図書館前北側とスチューデントプラザ前の電子掲示板においても、企画 CM の放送を行った。

また、雙峰祭終了後、YouTube において生中継映像の公開を行った。

(2) 後夜祭オープニング映像

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、準備に時間がかかったため、放映開始が 6 分ほど遅れた。

5. 使用する写真・映像の肖像権についての対応

概ね実計通り行った。ただし、実計との相違点として、映像撮影については各企画に雙峰祭オンラインシステム上で撮影の可否を問い、合意した企画のみ撮影を行なった。

I. ステージ管理局

1. ステージ企画団体の募集および受付登録

(1) 募集期間

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、企画受付は5月1日(月)から5月14日(日)の予定だったが、雙峰祭オンラインシステムの不具合により5月13日(土)1:00頃～5月14日(日)21:39は申請できなかったため、5月15日(月)12:00まで企画受付を延長した。

(2) 募集の告知

実計通りに行った。

(3) 登録方法

実計通りに行った。

(4) 本人確認

実計通りに行った。

2. 企画団体の情報管理

実計通り行った。

3. 企画団体への各種連絡・指示

(1) ステージ組合

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、第2回ステ組の場所は以下の通りになった。

UNITED ステージ組合 : 1E501

松美芝生ステ組 : 1E502

大学会館ステ組 : 1E503

また、UNITED ステージ組合が予定されていた1E201は数理物質エリア支援室となっていたため、第4回と第5回目は1C305、第6回目は1E203にて行った。

各ステージについて、内容は学実委からの連絡や資料配付・回収が主だったが、PA¹との面談も行った。

(2) ペナルティ制

実計通りに行った。

(3) 企画団体への対応

実計通りに行った。

4. UNITED ステージにおける交通規制・自転車撤去

実計通りに行った。

5. 前夜祭におけるステージの管理・運営

(1) 企画実施時間

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、開始時間を 30 分早め、15:00 から開始した。

また、終了予定時刻は 20:30 であったが、実際の終了時刻は 20:47 であった（詳細は「Ⅱ.詳細 J.本部企画局 4.前夜祭部門 (3) TSUKUBA COLLECTION 2017」）。

(2) 企画実施場所

実計通りに行った。

6. 本祭における各ステージの管理・運営

(1) UNITED ステージ

実計通りに行った。

(2) 松美芝生

① 企画実施日時

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、UNITED ステージにて行われる後夜祭の実施時間を考慮し、11 月 5 日(日)の企画実施時間を 10:00～21:00 から 10:00～17:00 に変更した。

¹一般的には電氣的な音響拡声装置であるが、学園祭ではそれに携わる人のこと（ステージの音響や照明等を指揮・操作するエンジニア）を指す。UNITED ステージと松美芝生の音響や照明等は PA に依頼した。

(3) 大学会館

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、企画準備を支援するため、11月3日(金)も大学会館内の講堂とホール、会議室の管理を行った。11月5日(日)は施設管理側の都合により大学会館の解錠がタイムテーブルより30分遅れたため、タイムテーブルを30分遅らせる対応をとった。また、9月と10月に行った企画の下見とリハーサルの日程調整を行った。

7. 後夜祭における各ステージの管理・運営

概ね実計通りに行った。当日はほぼタイムスケジュール通りに終了した。

8. 雨天時対応

実計通りに行った。

9. 写真・ビデオ撮影

実計通りに行った。

10. 警備

(1) ステージ企画に対する警備

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、追加提出分に記載された企画のうち「31.つくばMVP」、「34.Doo-Wop アカペラステージ」の二企画は雨天中止になったために警備を行わなかった。追加提出分に記載された企画に加え、「20.第21回松美記念」が松美池内で開催されたため、観客が池に落ちないように巡回用の警備人員を配置した。「16.つくばアイドルフェスタ 2017」については写真撮影、ビデオ撮影、音声記録を禁止した。

(2) 委員会開催企画に対する警備

実計通りに行った。

11. 花火の打ち上げ

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、保安範囲の変更に伴い、ペDESTリアンデッキでの交通規制箇所を増やした。花火打ち上げ時には安全に十分配慮し、人の立ち入りを規制した。また、周知に関しては、10月28日(土)、29日(日)の台風による影響を考慮し、10月30日(月)にポスターの設置を行った。

J. 本部企画局

1. 学術部門

(1) 受験応援

実計通りに行った。来場者数は約 470 人であった。また、キャンパスツアーの参加者は 96 人であった。

(2) つくば研究紹介

実計通りに行った。来場者数は約 1700 人であった。

(3) つくばイチ受けたい授業

実計通りに行った。来場者数は約 380 人であった。

2. 装飾部門

(1) 雙峰祭シンボルゲート

実計通りに行った。

(2) つくデコ・つくばキャンパスデコレーション

実計通りに行った。

3. 来場者参加型部門

(1) ゆるキャラ®企画

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、本祭 1 日目の 14:18～15:15 と 16:20～16:30 は雨天時対応をとった。来場者数は 1030 人であった。

(2) 子ども劇

実計通り行った。観客は約 500 人であった。

(3) ペったんコラリー

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、景品が無くなり次第、企画終了とした。参加者は約 1160 人であった。

(4) 樽酒振る舞い

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、本祭一日目の企画開始直前の雨天時判断により物品の移動に時間を要したため、開始が 17:30 となった。来場者は約 2900 人であった。

(5) 絶望監獄～狂った看守の隙をつけ～

実計通りに行った。来場者は約 740 人であった。

(6) フォトラリーつくば

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、景品が無くなり次第企画終了とした。参加者は約 1200 人であった。

(7) 休憩所

実計通りに行った。

4. 前夜祭部門

(1) 前夜祭セレモニー

実計通りに行った。

(2) つくバラエティー

実計通りに行った。

(3) TSUKUBA COLLECTION 2017

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、前夜祭において企画終了時刻が 17 分遅れて 20:37 となった。主な理由としては転換における学実委の不手際によるものであった。総投票数は 41811 票であった。

5. 後夜祭部門

(1) 後夜祭オープニングセレモニー

実計通りに行った。

(1) つくばお笑いライブ 2017

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、お笑い芸人の到着の遅れにより、サイン色紙プレゼント企画を行わなかった。

(2) 雙峰祭グランプリ 2017

実計通りに行った。参加者数は約 306 人であった。

K. 案内所運営部会

1. 当日の運営体制の管理

実計通りに行った。

2. 案内所の運営

(1) 案内所運営時間

実計通りに行った。

(2) 来場者対応

① オフィシャルパンフレットの配布

実計通りに行った。

② 迷子対応

迷子を数名案内所で保護したが、当日放送をする前にすぐに保護者が見つかった。また、子供を捜す保護者も一組案内所を訪れたが、案内所付近に子供がいたため、すぐに子供と合流することができた。

③ 落し物対応

概ね実計通りに行った。ただし、実計との相違点として、学園祭期間中学実委に拾得物として届け出られた貴重品については、学園祭実行委員会室（1C205）の金庫にて保管した後、学園祭終了後に学生生活課に管理を委託した。また、その他の落し物については11月6日（月）、7日（火）は学実委で保管し、その後学生生活課に管理を委託した。

(3) 企画対応

実計通りに行った。

(4) 本部・他のエリアの案内所との情報共有

実計通りに行った。

3. 当日の巡回

実計通りに行った。

4. 雨天時・強風時の対応

(1) 本祭一日目 14:00 頃の降雨

14:00 過ぎから雨が降り出した。テント内に雨が入らない程度の雨であり、調理品に衛生的な問題が生じる恐れがないと判断し、雨天時判断は下さなかった。16:00 頃に風雨が強くなったため、雨天時少雨判断を下し、屋外実施企画による調理及び調理品の販売を中断してもらった。17:00 頃に天候が回復したため、雨天時少雨判断を解除した。

(2) 本祭一日目 18:00 頃の降雨

18:00 過ぎから雨が降り出した。雨天時少雨判断を下した。会館エリアと体芸エリアでは天候の回復が望めず、10 分ほど早めに屋外企画の終了を決定した。また、第二・第三エリアと第一エリアに関しても、19:00 ごろからの片付けを認めた。

企画団体への連絡については実計の通りに行った。

5. 緊急時の対応

(1) 応急対応

実計通りに行った。

(2) 電話対応

実計通りに行った。

L. 調査専門部会

1. 来場者アンケートの実施

(1) 来場者アンケート

実計通りに行った。

(2) Web アンケート

実計通りに行った。

(3) 委員会開催企画アンケート

実計通りに行った。

2. 企画団体への調査

(1) 企画アンケート

実計通りに行った。

(2) 座談会

実計通りに行った。

3. 観察調査の実施

実計通りに行った。総来場者数は 32000 人程度であった。

4. アンケートの集計

実計通りに行った。

5. 福引所の運営

実計通りに行った。